



伊達西小では演奏を披露

伊達中は、収録の進行も生徒自身が行いました



忙しい日常に 子どもたちの優しい声が届きます

11月19日と29日、伊達西小学校と伊達中学校で、FMびゅう「だてラジオ宅配便」の収録がありました。

伊達市の元気を伝えようをテーマに市内小中学校の子どもたちがお送りする学校紹介は、すでに9校になりました。

今回の伊達西小学校は5年生が収録しました。校歌と互いに質問し合うインタビュー形式での学校紹介、楽器の演奏が披露されました。

伊達中学校では、サッカー部・卓球部の部員と放送局のメンバーによる校歌の収録のあと、放送局員の進行で、全国大会・全道大会への出場にあたっての感想やお礼などを話してくれました。

食べ物に感謝をしましょう 黄金小学校「もちつき集会」

12月6日、黄金小学校で地域の方やALT（外国語指導助手）を招いた「もちつき集会」がありました。低学年から順にもち米が入った石臼に杵をおろし、つき上がったお餅であんこもちを作ったり、学校で育てた大豆を石臼で挽いて「きな粉」にし、きなこもちなどにしておいしく食べました。

また、6年生が全校児童を代表し、近隣の1人暮らしの高齢者を訪問し、心をこめてついたお餅のおすそ分けなどをしました。



あんこを包むのは難しいよ～

お正月に家族に披露するのが楽しみです



伊達消費者協会 お正月用料理教室

12月6日、保健センターで伊達消費者協会の「北海道米料理講習会」が開催されました。

道産米の消費拡大PRを目的に北海道消費者協会の支援を受けて開催されたこの催し。

アツアツのごはんにぴったりのお正月用料理計7品に大ベテランの主婦の方が挑戦しました。

参加者は、カニの身とぎんなんを使った「レンコンの銀アンかけ」や鮭とばとしょうがを巻いた「こぶ巻き」など、手ぎわよく調理していました。

新装オープンへ 市観光物産館増築工事スタート

12月2日、市観光物産館で来年3月（予定）の新装オープンに向け、増築工事が始まりました。

同館は、平成24年4月のオープン以来、新鮮野菜の売り上げが好調で、農業者からの新規出店の申し込みや既存スペースの拡大を求める声を受け、営業を続けながら工事を進めることになりました。

計画では、同館を正面駐車場側に約400㎡増築し、販売スペースの拡大と災害時に有効なFMラジオの放送スタジオを開設する予定です。



工事用の仮囲いのための土台が設置されました

クリスマスの歌と一緒に歌いました



うす保育所・潮香園 「クリスマス交流会」

12月11日、有珠町の市養護老人ホーム潮香園にうす保育所の子どもたちが訪れ、クリスマス会が行われました。

子どもたちが踊りやハーモニカでの演奏を披露したあと、ひとりずつ手作りのメダルをプレゼントしたり一緒に歌うなどしました。

お返しにおじいちゃん・おばあちゃんが扮するサンタクロースがプレゼントを配り、うれしそうに握手する微笑ましい様子が見られました。



今が旬！ 伊達の「冬野菜」

市では、JA伊達市と連携し、今年度から「冬野菜」の栽培に取り組む農業者を支援しています。店頭で販売される野菜が本州産に切り替わる北海道の長い冬、道内でも特に雪が少なく温暖な伊達市では、ビニールハウスを活用した「冬野菜」の栽培が可能です。冬野菜は、病害虫の発生が少なく農薬の使用を抑えられる利点があり、寒さに強いほうれん草や小松菜、白菜などの栽培に市内18軒の農業者が取り組んでいます。

ビニールハウス2棟でほうれん草を栽培する長和町の佐藤秀徳さんは「生育期間は夏物の2倍かかります。でも味が濃くとてもおいしいです」と話してくれました。



ビニールハウスいっぱい広がった
「ほうれん草畑」

青々とした葉が、おいさを物語っています